

# 福島第一原子力発電所現地確認報告書

## 1 確認日

令和7年12月12日（金）

## 2 確認箇所

- (1) 西門研修棟休憩所（図1）
- (2) 高温焼却炉建屋西側ヤード（図1）
- (3) サプレッションプール水サージタンク建屋（図1）

## 3 確認項目

- (1) 構内走行サーベイの実施状況
- (2) 撤去済み非常用ガス処理系配管の保管状況
- (3) サプレッションプール水サージタンク建屋内の現況

## 4 確認結果の概要

### （1）構内走行サーベイの実施状況

東京電力では、3か月に1度、構内各地点について走行サーベイ<sup>\*1</sup>による空間線量率の測定を行い、線量低減対策の効果を確認していることからその状況を確認した。（写真1）（前回確認：令和6年11月15日）

※1 走行サーベイ

車両に測定器を搭載し、同時に位置情報を自動的に記録することで、走行しながら線量率を確認することができる。そのため、広い範囲に対して効率良く空間線量率の測定が行うことができる。

- ・走行サーベイの準備作業の状況を確認した。作業員はペアを組み、手順書に沿って測定装置の設定等を一つ一つチェックしていた。
- ・線量計の校正日は、有効期限内であった。（写真2）
- ・走行サーベイは、運転手（運転席）、走行ルート案内者（助手席）、線量データ確認者（後部座席）の3名で行われ、1日かけて主要道路を回ることになっていた。なお、道路の交通規制等で通行止めになりデータが欠測となった場所は、後日改めて走行サーベイが行われる。
- ・線量計は電離箱式サーベイメータを使用しており、ダッシュボードに固定されていた。また、測定した値は、パソコンの画面に表示され、GPSのデータと照合し、構内の空間線量率マップのデータに加工される。（写真3）
- ・至近の走行サーベイの評価結果（2024年2月測定データと2025年3月測定データとの比較）では、1～4号機東側の道路において線量率の低下が認められている。東京電力によると、防潮堤設置工事他により線量が低減したものと評価している。

## (2) 撤去済み非常用ガス処理系配管の保管状況

切断された非常用ガス処理系配管3本（表面線量率最大 $800\text{ mSv/h}$ ）が高温焼却炉建屋西側ヤードに仮置きされていることからその状況を確認した。（2023年に切断した8本の内残りの5本については、1号機タービン建屋屋上に仮置きされている。）

### ※2 SGT S配管

原子炉建屋内の空気をフィルタを通して換気する非常用ガス処理系の配管である。2011年3月の事故発生時、原子炉格納容器内の圧力を下げて損傷を防ぐために放射性物質を含む気体を放出する際に使われたため、高線量となっている。

- SGT S配管は、衝立遮へい内に保管されていた。また、高線量の物が仮置きされていることが一目でわかるように、大型の立て札や掲示板が掲示されていた。（写真4）
- 仮置き場所内2箇所にリアルタイム線量計が設けられていた。（写真5）
- 仮置き場所周囲をサーベイメータにより測定したところ、全ての測定箇所において $0.1\text{ mSv/h}$ を下回っており、遮へいは適切に行われていた。（写真6）

## (3) サプレッションプール水サージタンク建屋内の現況

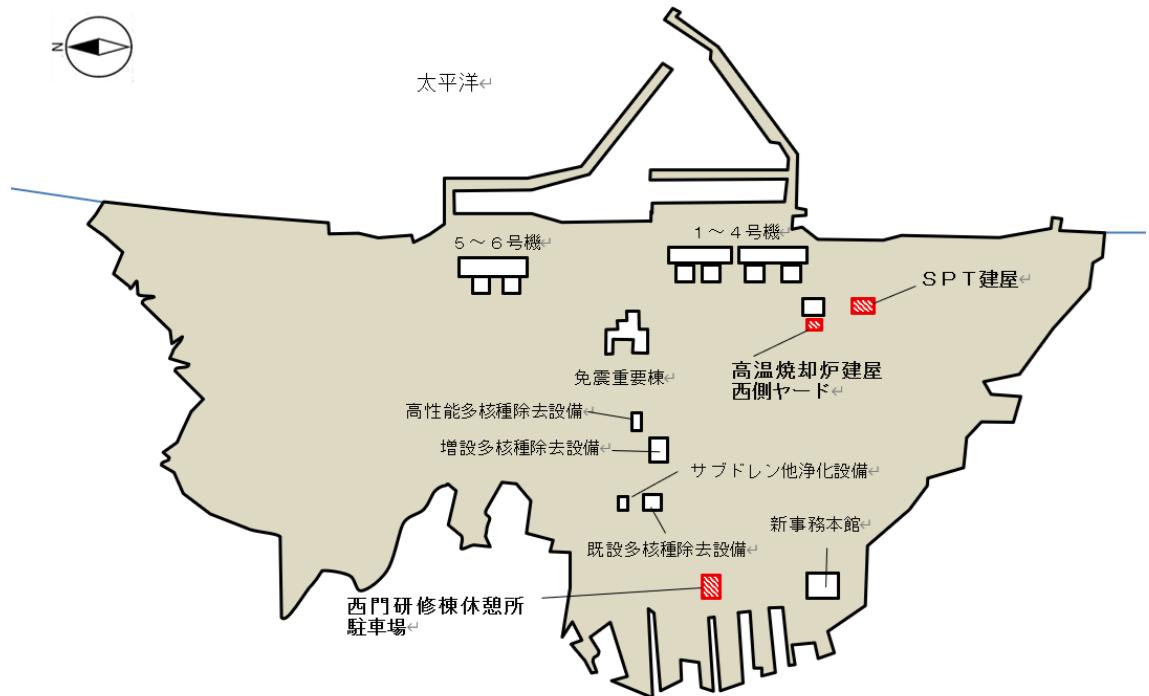
現在、サプレッションプール水サージタンク建屋は、1～4号機建屋の滞留水一時貯留設備として滞留水を汚染水処理設備（SARRY、SARY II、KURION）にてセシウム、ストロンチウム等を除去した水をサプレッションプール水サージタンク（以下、「SPT」という。）B系に一時的に貯留し、RO設備<sup>※3</sup>に移送する役割を担っている。

本日は、SPT建屋内の現況を確認した。（前回確認：平成29年10月20日）

### ※3 RO設備

塩分を除去し、淡水にする設備。淡水化装置、受入水槽、ろ過装置、逆浸透膜、処理水槽などから構成される。

- タンク、配管及び弁等を確認したところ、漏えい等といった異常な状態は見られなかった。（写真7）
- 作業員の被ばく抑制対策として、配管に垂れ幕タイプの放射線遮へいシートが設置されていた。（写真8）
- 設備の点検等で使用するスプレー缶類は、鍵付の危険物保管庫で保管管理されていた。また、そばには消火器が配置されおり、安全対策が適切になされていた。（写真9）



(図 1)



(写真 1)  
構内サーバイ時に使用する車の状況



(写真 2)  
線量計の状況  
(校正有効期限：2026年8月迄)



(写真3)

測定データ表示画面の状況（表示画面は  $1 \mu\text{Sv}/\text{h}$ ）



(写真4-1)

S G T S配管保管場所の状況①



(写真4-2)

S G T S配管保管場所の状況②

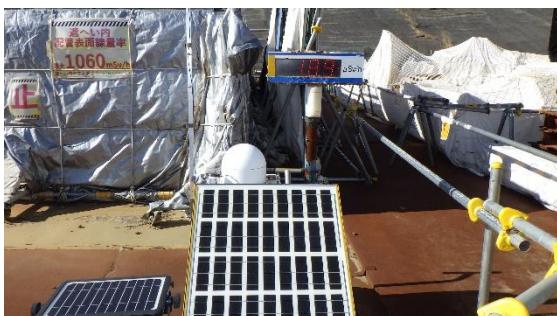


(写真4-3)

S G T S配管保管場所の状況③



(写真5－1)  
リアルタイム線量計設置状況①（南側、 $9.8 \mu\text{Sv/h}$ ）



(写真5－2)  
リアルタイム線量計設置状況②（北側、 $18.9 \mu\text{Sv/h}$ ）



(写真6)  
県職員による線量測定時の状況



(写真7－1)  
SPT（B系）上部の状況



(写真7－1)  
SPT（B系）下部の状況



(写真7－2)  
配管の状況



(写真7－3)  
弁の状況  
(漏えい防止策で接続部がビニールで養生されている)



(写真8－1)  
放射線遮へいシートの設置状況①



(写真8－2)  
放射線遮へいシートの設置状況②



(写真9)  
危険物保管庫の状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。